

2023学校評価アンケート（小学校）意見聴取結果

※保護者

Q1 2023年度の学校評価アンケートの結果についてのご意見やご感想をご記入ください。

昨年度の結果と概ね傾向は同じようでしたが、大きく改善している点もあり、とてもよい一年だったのだと思います。

アンケートに答えながら、この一年のさまざまなことを振り返るきっかけになりました。中学年の、学びのために校外に出かけたり、ゲストをよんだりなどのイベントを、こどもたちで計画している。の評価が低めなのは意外でした（以前の公立と比べてしまうせいもありますねきっと）が、おとながえっと驚くくらい、したいことがあるということの表れなのでしょうね。素晴らしいことだと思いました。

大日向に育てられているのは子どもたちだけでなく、親の自分だ・・・と色々な思いを胸に噛み締めることのなんと多い（ほとんど毎日のように！）一年だったでしょうか。

今後も、ともに成長を喜びあえる家庭を目指していきたいと思います。

残りもわずかになりましたが、どうぞよろしく願いいたします。"

正直、見方がよくわからない。

ポジティブになったところは、人数が少なくなったこと、2学年になったことが反映されているように思う。新聞のところ、おうちで補填できるところもあるかもしれない（聴き方かえる必要あり？）

ちゃんと、自分のことを認めてもらえる安心感があるように思える。

子どもたちが安心して通える環境なんだなということは、このアンケートからよくわかる。

親は、自分の子供についての評価がからいかも。

- ・一人ひとりの意見が尊重されたり、自分たちで決められているのがよい。
- ・学習の計画をたてているが低いけど、決める幅は人や学年によっても違うと思うから難しい。
- ・子どもの様子を書くところが見えづらい。学習の様子、進捗、子どもたちの日常の過ごし方がわかるとよい。学年があがるほど話さない子がおおい。
- ・授業時数情報がほしい、休み過ぎじゃないと言われる。
- ・教職員の数値があがっていてとてもよい。

かざりつけのところ、あんまり自分たちでできているんじゃないか？と思っている子がいたのが意外。→全部が全部子どもたちの意見を取り入れたら大変。「もっとこうしたい」があるのかな？

グループリーダーとの関係で、学年がへるにつれ変化があるように思う。

もっと、学校の普段の活動を見られる機会があると良い。見守りとかあるが、来られない方もいるので、普段の活動を見られる機会があるとよい。親側の意識としても都合をつけられるとよい

と思う。→見守り+学習の様子を見られるようにしてはどうか。学校の業務量等もあると思うが…。”

同じようにきかれていても、差があるんだなと思った。例えば、自分は大切に思えなくても得意なことできていると思うんだなあ…ということ。

子どもたちで計画することはなくはないけど、よくあるわけではないなあと思った。

すごく下がっていたけれど、昨年より下がっているものには（上がっているものにも）理由はあるんだろうなと思った。

学年が交じるといいことは、教える⇔教わるがあるだけでなく、選べるがある。

職員のモチベーションは大事だと思う。

時間で区切られないところがありがたい。時間限られているのに、みんなの意見をくみとりつつ時間ないにまとめられてすごいと思う。あずけてよかった。

クラスのこと決めること→自分たちできていると感じているんだなと思った。

クラスの中での自分のところが下がっている→なにか気になっていることがあるのかな？（けんかとか…）”

Q2 学校評価アンケートの方法や結果の集計方法など、学校評価の実施方法についてのご意見があればお知らせください。

結果集計について、グラフなどを用いて可視化されてると、より見易いかと思いました

自由記述があった方がいい。質問されたこととは別のことが気になっていることもあると思うので。

こういうことをやっていたのだという驚き、比較がし辛い（今年入ったばかりで実感が湧きにくい部分があった）

項目の内容については、いくつか答えにくいところがあるので、聴きたいことの意図がわかるようになるといい。

質問の難しさ（子ども・保護者）→答えづらいところもあった。質問の意味が伝わるような聴き方に。

自分の娘のことで答えるのが難しかった。→伝わるのかな？という心配があった。

※教職員

- ・「やればできる」と思っているのが4ポイントだが、思っているけど「やっていない」という印象も受けている
- ・自信がついてきているとポジティブに受け取ることもできる
- ・社会の発表、催しの発表、サークルでの発表など、発信する機会が肯定的に受け止められている

- ・「物は片づけられている」けど、自分たちの教室は「片づけられている」は3ポイント程度なのは自己評価と環境がリンクしていないことが分かる
- ・学校外から誰かを読んだり外に出ていくことを企画する機会や発信は少なかった→そういうチャンスを設定できるようにする
- ・「物事の決定が話し合いによってできている」が0.3ポイント上昇は、グループの帰属意識がポジティブに出ている・反面、帰属意識が強いことで内向きな発想になっているともいえる